

特別講演 1

「糖尿病は専門ではない循環器内科医の僕がやるべき糖尿病治療

～より早く・ためらわず・あきらめず～」

国際医療福祉大学大学院医学研究科

循環器内科学・福岡薬学部 教授

岸 拓弥 先生

糖尿病は全く専門外である循環器内科医である私だが、実は糖尿病治療は循環器内科医にとってコンピテンシーでもある。急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017年度版）の心不全ステージ分類は、A「リスク」・B「器質的心疾患ありも症状なし」・C「症状あり」・D「治療抵抗性」であり、心不全のステージを進行させる重要なリスクである糖尿病は、心不全患者の3人に1人が合併し、糖尿病患者の50-70%は左室拡張不全を有する。近年 SGLT2 阻害薬の画期的なエビデンスが次々と発表され、2021年3月に発表されたガイドラインフォーカスアップデート版では、SGLT2 阻害薬は、心不全を合併した糖尿病に対する治療として推奨クラス I・エビデンスレベル A であり、ステージ C で左室駆出率 40%未満の心不全の場合は薬物治療の基本薬の1つとなっている。

本講演では、糖尿病が専門ではない循環器内科医が目指すべき糖尿病治療を共有したい。